

日本一、子どもを産みやすく、育てやすい県、香川県

香川県立観音寺第一高等学校 1年 高橋 里帆

青い空、白い雲、瀬戸内海に浮かぶ無数の島々や、おにぎり山から眺めるたくさんのお池、安くておいしいさぬきうどんなど、私の住む香川県にはいいところがたくさんあります。私の家の前には田んぼがあり、自転車を使えばすぐ海にも行けます。良い意味で田舎の要素が多い香川県が、私は大好きです。高校を卒業したら、県内の大学に進学後、県内で就職し、地元香川県でずっと生活できたらしあわせだと思っています。

しかし、そんな良いとこだらけの香川県にも弱点があります。香川県人口の現状と将来予測（図1）より、平成11年をピークに人口が減少し、少子高齢化が急速に進むことが予想されます。特に、15～64歳の生産年齢人口の減少は致命的です。また年齢別構成割合（図2）より、香川県では20歳前後の若者の人口減少率が大きいことに加え、一旦県外へ流出すると退職前まで地元に戻ってこないことが分かります。県内ではたらく若者（納税者）数の減少は、香川の財政悪化につながります。その対策として、香川県が他にはない魅力をもつことで、一旦進学等で地元を離れた若者を再び呼び戻したいと思います。そこで、人口の減少を食い止める、魅力ある香川県にするための3つの方針を提案します。

まず第1に、女性が元気に活躍できる香川の職場づくりをすることです。女性が子どもを産み育てるためには、まずお金が必要です。経済的な先行き不安が、晩婚化、未婚化、そして少子化につながるものと考えられます。女性の年齢階級別の雇用者比率（図3）から、他の年齢と比べて30～44歳までの女性の雇用者比率が低いことが分かります。この年代の女性はちょうど子育て世代と考えられ、男性と比べ女性が子育ての中心となっているため、仕事を継続できない等の理由が原因の1つではないでしょうか。また、図4より、女性の半数はパート・アルバイト等の不安定な雇用形態であることが分かります。これも、女性が家事や子育て等による離職後の再就職や、時間的な制約等により正社員を希望していない人がいることが考えられます。さらに深刻なのは、全雇用者に占めるパート・アルバイトの割合が年々増加していることが、図5より分かります。特に女性の割合増加は顕著で、このような経済的に不安定な雇用者が増え続ければ、家計の収入は減り、消費は冷めたままでしょう。企業は目先の人件費を削るのではなく、先々の消費の動向も視野に入れ、正規採用の従業員を増やしてもらいたいのです。私も、雇用の安定した正社員になりたいと強く思います。解決方法としては、男性の家事や育児への参加を推進することです。今の時代、家事や育児は女性が行うといったステレオタイプの発想ではなく、男性も家事等に協力することは当然です。しかし、まだ家事や育児は女性が中心になって行うものといった古い発想が主流です。そこで、テレビ等のマスコミにかっこよく当たり前家事等をこなす男性を頻繁に登場させてはどうでしょうか。イクメンなどの言葉を使わなくても、男性が家事や育児を普通にこなす姿を見慣れることで、国民全体の意識改革を起こすことが必

ずできると思います。さらに、図 6 から女性管理職の割合が、男性と比べてかなり低いことが分かります。女性の管理職を増やすことで、女性の社会進出に対する理解を深め、女性の雇用拡大や職場環境の改善につながると考えられます。現在の東京都知事のように男性と対等に活躍している素敵女性を見ると、同じ女性として勇気が湧きます。魅力のある女性のトップをたくさん育成することで、女性が元気に活躍できる香川の職場を増やしたいと思います。

2つ目に、子どもを育てやすい香川県にすることです。産前産後はどうしても一時的に仕事を休まなくてははいけません。また、核家族の場合、産後職場復帰するには、子どもを預けるための保育施設を利用する必要があります。以前、保育施設の空きがないといった社会問題が話題になりました。図 7 によると、今でもあまり解消していないようです。県内の保育施設を充実させ、産後はたらきたいと考えているすべての女性が子どもを預けることが可能な数の保育施設の整備を、早急に行って欲しい。そのためには、職場に近い保育施設が数多くあることに加えて、十分な数の保育士を確保することが重要です。母親の仕事による保育時間の急な延長への対応や、体調の変わりやすい幼児へのきめ細かい対応を行うためにも、多くの保育士が必要です。保育士が足りていれば、保育士自身も早出・遅出等の自由な時間にはたらくことが可能となり、長時間労働問題の解消にもなります。1日8時間の勤務なら、保育士としての仕事と自身の家事や育児を両立でき、保育士を辞めずに続けられるのではないのでしょうか。保育士の待遇改善が、さらなる保育士の確保につながるはずです。私の将来の夢は、香川県内で保育士または幼稚園教諭になることです。自ら、県内の保育環境の向上に努めたいと思います。

3つ目に、いつでも休暇を取得できる職場環境づくりです。子どもを育てる際には、急病時の介護の他、授業参観日や運動会への参加など、学校行事へ参加する機会が多く考えられます。よりよい子育てを行うためには子どもとのコミュニケーションが欠かせません。保護者の学校行事への積極的な参加が、子どものためになることは言うまでもありません。また、子どものためだけでなく、親や家族の介護が必要になることも考えられます。私の祖父も数ヶ月の入院後、自宅での介護生活が続きました。母は、ヘルパーのお世話になりながらも、午前中は仕事、午後からは介護や通院介助と、休みなく目が回るほど忙しい日々を送っていた頃がありました。そこで、普段から残業時間が長く、休暇の取得が言い出しにくい職場ではいけません。お互いに助け合い、いつ誰が抜けてもサポートしあえる職場環境が、魅力ある会社の条件です。仕事内容や従業員数にも余裕があり、休暇の取得が言い出しやすい香川の企業が増えたらうれしいです。

魅力ある香川県にするためのこれら 3 つの提案は、すべて少子化を改善する対策でもあります。子育てに不安を感じない若者が増え、はたらきやすい職場環境を整えることで、しっかりと税金を納めてもらえます。さらに企業からの税収入も増えるため、県の財政も潤うという好循環をつくることができます。「日本一、子どもを産みやすく、育てやすい県、香川県」をキャッチフレーズにして 3 つの課題を改善したいです。しかし、香川県だけに

若者を呼ばずすべて問題が改善するという発想では、根本的な解決にはなりません。生産年齢人口の減少問題は全国規模のことと考えなければ、良いアイデアを出しても若者の取り合いになってしまいます。そのためには、全国の保育環境の改善が急務です。自分の夢の実現のためにも、幼児に対する十分な知識や技能を習得し、愛に満ちあふれた保育士になりたいです。自分自身がずっと住み続けたいと思える香川県を実現するために、日々努力して微力ながらも地域に貢献できる人になりたいと思います。

図 1

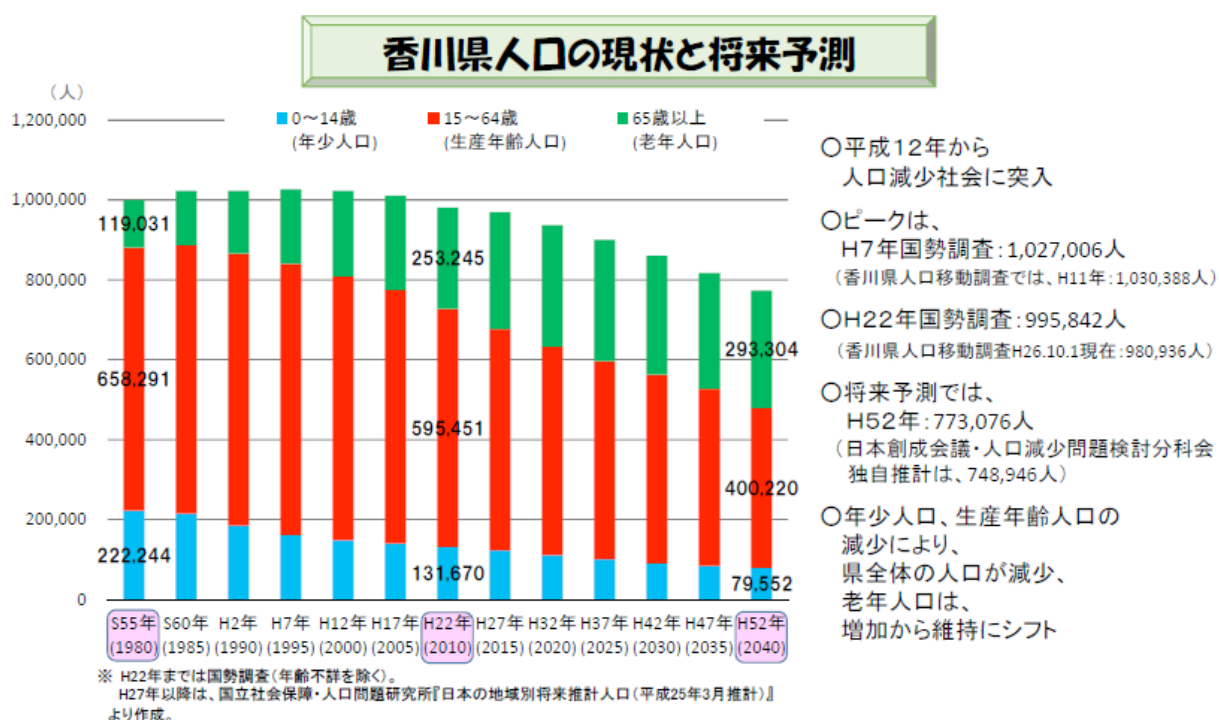


図 2

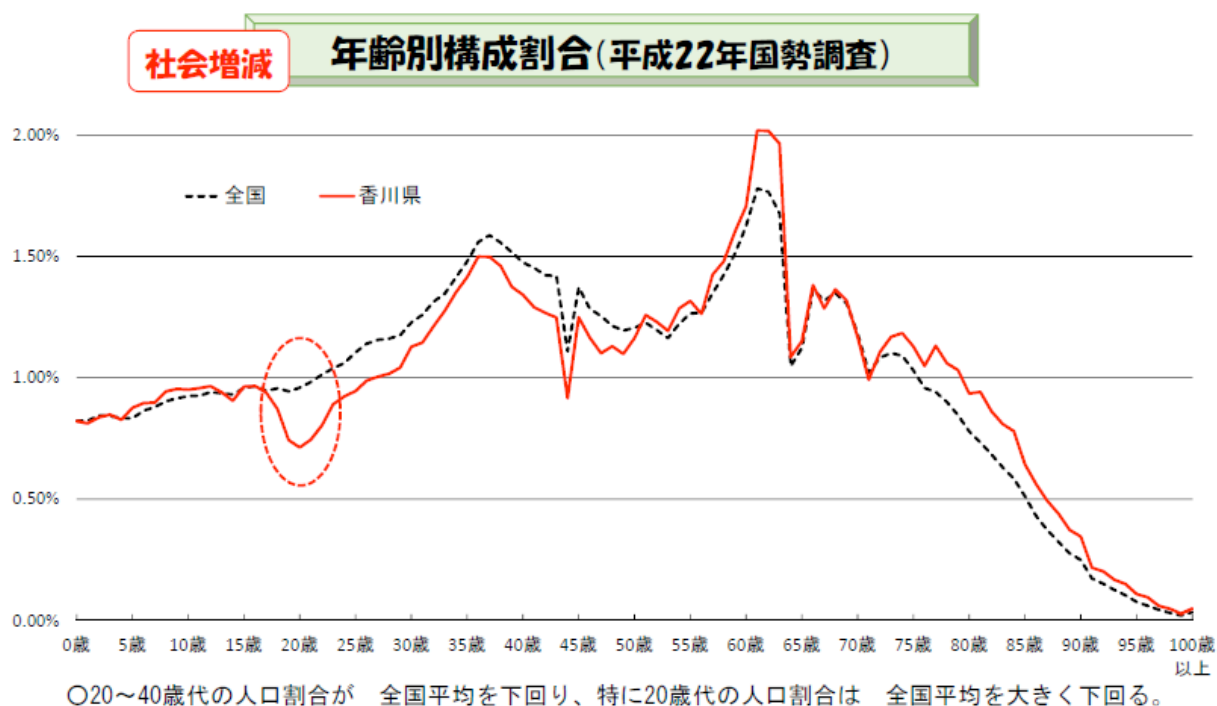


図 3

2 女性の年齢階級別の雇用者比率

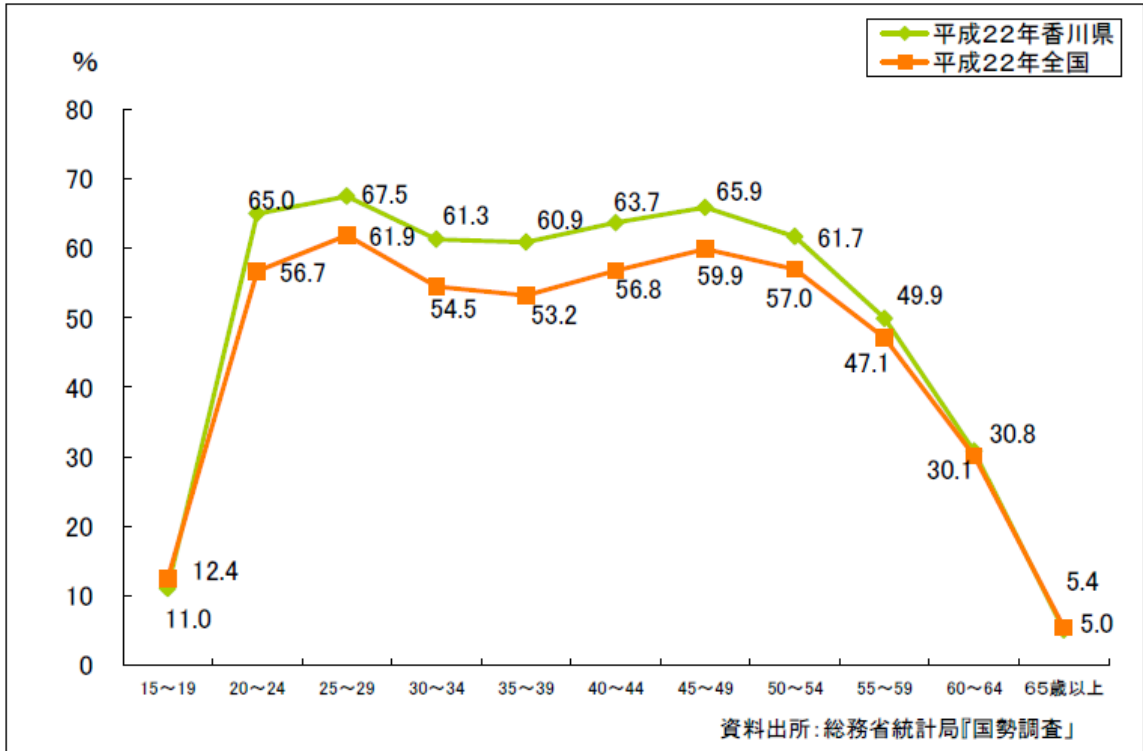


図 4

9 雇用形態別雇用者数の推移

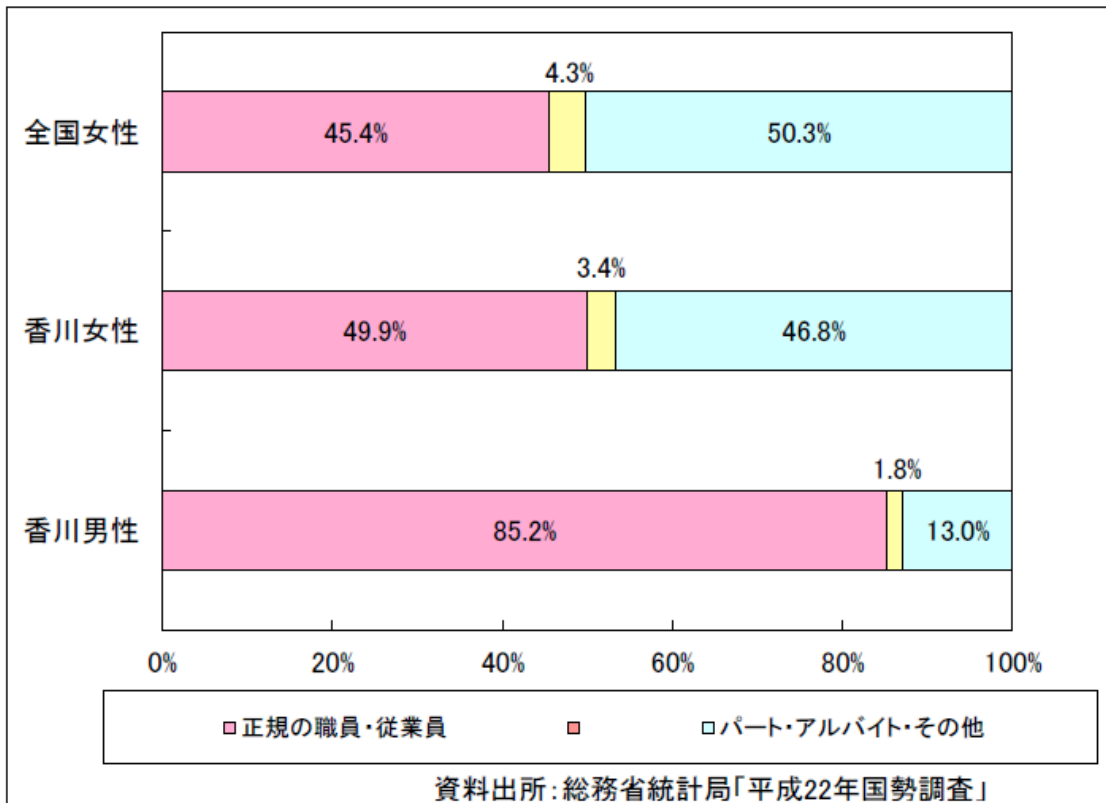


図 5

10 パート・アルバイト労働者数及び雇用者に占める割合の推移

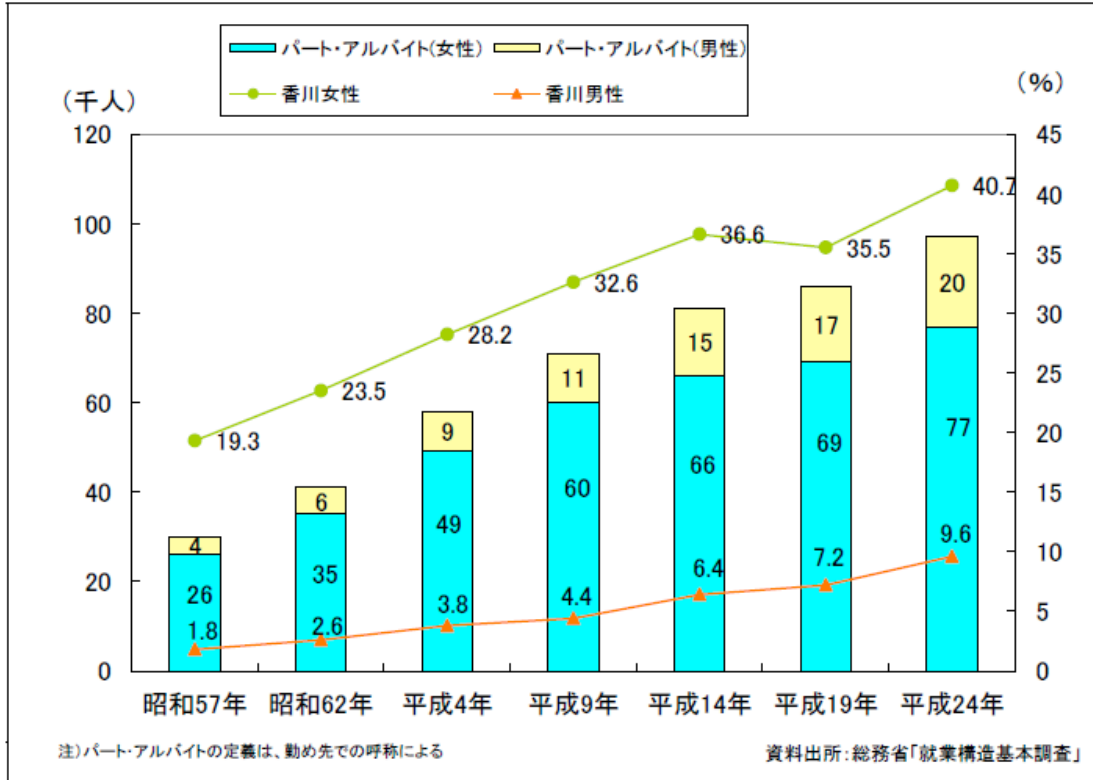


図 6

7 管理的職業従事者に占める女性の割合

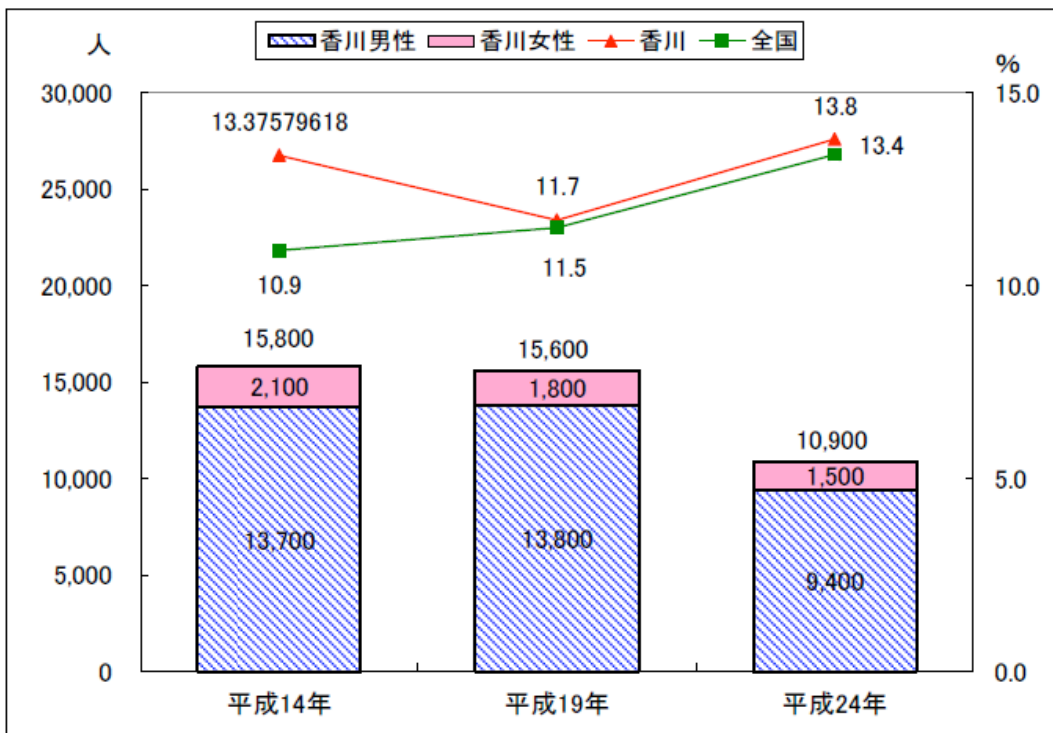
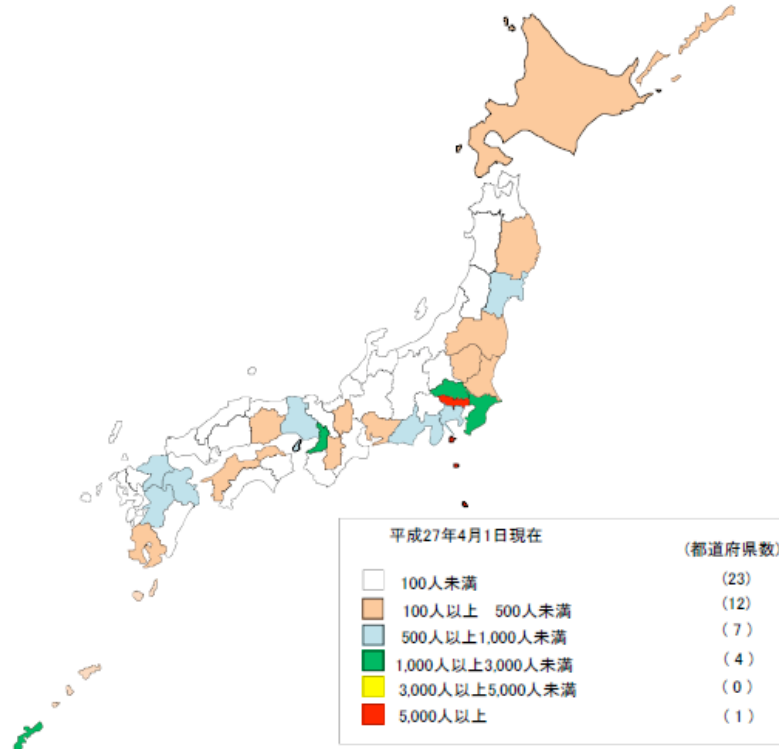


図 7

平成27年4月1日 全国待機児童マップ (都道府県別)



注:各道府県には政令指定都市・中核市を含む。

都道府県	待機児童数 人
北海道	182
青森県	0
岩手県	128
宮城県	926
秋田県	37
山形県	0
福島県	401
茨城県	373
栃木県	250
群馬県	0
埼玉県	1,097
千葉県	1,646
東京都	7,914
神奈川県	625
新潟県	0
富山県	0
石川県	0
福井県	0
山梨県	0
長野県	0
岐阜県	7
静岡県	780
愛知県	165
三重県	98
滋賀県	346
京都府	6
大阪府	1,365
兵庫県	942
奈良県	253
和歌山県	18
鳥取県	0
島根県	46
岡山県	393
広島県	66
山口県	71
徳島県	57
香川県	129
愛媛県	119
高知県	47
福岡県	759
佐賀県	11
長崎県	42
熊本県	659
大分県	536
宮崎県	0
鹿児島県	182
沖縄県	2,591
計	23,167

参考文献

図 1、2 出典：香川県統計情報データベース

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/shiryou-zinkousuikei.pdf>

図 3、4、5、6 出典：香川労働局データベース

<http://kagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/kagawa-roudoukyoku/KIKAKU/kinntoude-ta.pdf#search=%27%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C%E5%A5%B3%E6%80%A7%E9%9B%87%E7%94%A8%E8%80%85%E6%95%B0%27>

図 7 出典：厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11907000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Hoikuka/0000098603.pdf>